

令和4年度

鴻巣市公営企業会計決算審査意見書

鴻巣市監査委員

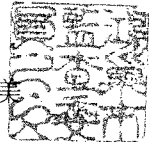


鴻 監 第 2 4 号

令和5年8月18日

鴻巣市長 並木正年 様

鴻巣市監査委員 夏目 眞由美



鴻巣市監査委員 芝 寄 和好



令和4年度鴻巣市公営企業会計決算審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき審査に付された、令和4年度鴻巣市水道事業会計及び下水道事業会計の決算及び附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

# 目 次

|                |   |
|----------------|---|
| 第1 審査の対象 ..... | 1 |
| 第2 審査の期間 ..... | 1 |
| 第3 審査の方法 ..... | 1 |
| 第4 審査の結果 ..... | 1 |

## 鴻巣市水道事業会計

|                 |    |
|-----------------|----|
| 1 業務概況 .....    | 4  |
| 2 予算の執行状況 ..... | 5  |
| 3 経営成績 .....    | 8  |
| 4 財政状態 .....    | 11 |
| むすび .....       | 15 |

## 鴻巣市下水道事業会計

|                 |    |
|-----------------|----|
| 1 業務概況 .....    | 18 |
| 2 予算の執行状況 ..... | 19 |
| 3 経営成績 .....    | 22 |
| 4 財政状態 .....    | 25 |
| むすび .....       | 29 |

# 鴻巣市公営企業会計決算審査意見書

## 第1 審査の対象

令和4年度 鴻巣市水道事業会計決算

令和4年度 鴻巣市下水道事業会計決算

## 第2 審査の期間

令和5年7月4日から令和5年8月17日まで

## 第3 審査の方法

審査に当たっては、審査に付された令和4年度鴻巣市水道事業会計及び下水道事業会計の決算書並びにその附属書類が各関係法令に準拠して作成されているか、また、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかを検証するため、関係職員から説明を聴取するとともに、計数については、関係諸帳簿及び証書類と照合し慎重に審査を実施した。

## 第4 審査の結果

審査に付された令和4年度鴻巣市水道事業会計及び下水道事業会計の決算書並びにその附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、関係諸帳簿及び証書類と符合しており計数は正確であると認められ、また、事業の経営成績及び財政状態についても、適正に表示されているものと認められた。



# 鴻 巣 市 水 道 事 業 会 計

## 鴻巣市水道事業会計

### 1 業務概況

令和4年度の業務概況については、表1に見られるとおり当年度末給水戸数52,280戸で、給水人口は117,584人である。また、年間の総配水量は12,836,384 m<sup>3</sup>で、総配水量に占める水源割合は、県水(埼玉県営水道)からの受水が67.9%で、地下水は32.1%となっている。

なお、有収率は92.9%で、前年度より0.1ポイント増加している。今後とも、有収率の向上のための更なる努力を期待する。

また、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている生活者や事業者に対する支援策として、公共施設を除く全ての水道利用者に対して、基本料金2か月分の免除を行った。

(表1) 水道事業の業務概況

| 区 分     | 単位             | 令和4年度      | 令和3年度      |
|---------|----------------|------------|------------|
| 行政区域内戸数 | 戸              | 52,319     | 51,577     |
| 給 水 戸 数 | 戸              | 52,280     | 51,538     |
| 行政区域内人口 | 人              | 117,661    | 117,578    |
| 給 水 人 口 | 人              | 117,584    | 117,499    |
| 普 及 率   | %              | 99.9       | 99.9       |
| 年間総配水量  | m <sup>3</sup> | 12,836,384 | 13,035,037 |
| ・ 県 水   | m <sup>3</sup> | 8,721,667  | 8,727,785  |
| ・ 地下水   | m <sup>3</sup> | 4,114,717  | 4,307,252  |
| 一日最大配水量 | m <sup>3</sup> | 38,444     | 38,859     |
| 一日平均配水量 | m <sup>3</sup> | 35,168     | 35,712     |
| 年間総有収水量 | m <sup>3</sup> | 11,929,806 | 12,092,934 |
| 有 収 率   | %              | 92.9       | 92.8       |

## 2 予算の執行状況（税込処理）

### （１）収益的収入及び支出

表 2 に見られるとおり、令和 4 年度における収益的収入は、予算額 2,407,981,000 円に対し決算額は 2,407,301,537 円であり、収入率は 100.0%となっている。決算額を前年度と比較すると 17,525,280 円（0.7%）の減少となっている。

収益的支出においては、予算額 2,378,121,000 円に対し決算額が 2,215,596,574 円で、執行率は 93.2%であった。決算額を前年度と比較すると 27,852,170 円（1.2%）の減少となった。

翌年度に繰り越された営業費用 13,000,000 円は、送水管破損修繕工事である。

（表 2） 収益的収入及び支出の決算状況

収 入

（単位：円・%）

| 区 分          | 予算額           | 決算額           | 比 較         | 収入率   | 備考   |
|--------------|---------------|---------------|-------------|-------|--|
| 第 1 款 水道事業収益 | 2,407,981,000 | 2,407,301,537 | △679,463    | 100.0 | うち仮受消費税及び地方消費税<br>192,603,642 円                                |
| 第 1 項 営業収益   | 2,064,218,000 | 2,031,892,645 | △32,325,355 | 98.4  | うち仮受消費税及び地方消費税<br>182,363,768 円                                |
| 第 2 項 営業外収益  | 343,762,000   | 375,408,892   | 31,646,892  | 109.2 | うち仮受消費税及び地方消費税<br>10,239,874 円<br>消費税及び地方消費税還付額<br>3,509,200 円 |
| 第 3 項 特別利益   | 1,000         | 0             | △1,000      | 0.0   |  |

支 出

（単位：円・%）

| 区 分          | 予算額           | 決算額           | 繰越額        | 不用額         | 執行率  | 備考                              |
|--------------|---------------|---------------|------------|-------------|------|---------------------------------|
| 第 1 款 水道事業費用 | 2,378,121,000 | 2,215,596,574 | 13,000,000 | 149,524,426 | 93.2 | うち仮払消費税及び地方消費税<br>127,258,321 円 |
| 第 1 項 営業費用   | 2,324,436,000 | 2,192,631,929 | 13,000,000 | 118,804,071 | 94.3 | うち仮払消費税及び地方消費税<br>127,258,321 円 |
| 第 2 項 営業外費用  | 43,684,000    | 22,964,645    | 0          | 20,719,355  | 52.6 |                                 |
| 第 3 項 特別損失   | 1,000         | 0             | 0          | 1,000       | 0.0  |                                 |
| 第 4 項 予備費    | 10,000,000    | 0             | 0          | 10,000,000  | 0.0  |                                 |



## (2) 資本的収入及び支出

表3に見られるとおり、令和4年度における資本的収入は、予算額216,261,000円に対し決算額は175,062,925円であり、収入率は80.9%となっている。決算額を前年度と比較すると35,134,598円(16.7%)の減少となっている。

収入の内訳は、企業債127,000,000円、工事負担金48,062,925円である。

資本的支出では、予算額900,777,000円に対し決算額は688,638,396円であり、執行率は76.4%となっている。決算額を前年度と比較すると46,531,109円(6.3%)の減少となっているが、これは主に工事請負費の減によるものである。

支出の主なものは、配水設備改良費274,720,050円、企業債償還金175,851,452円、原水及び浄水設備改良費111,650,000円、配水設備拡張費106,455,250円である。

翌年度に繰り越された建設改良費112,992,000円は、配水管新設及び布設替設計業務委託9,207,000円、配水管新設及び布設替工事88,616,000円、次亜注入ポンプ更新工事15,169,000円である。

資本的収入額175,062,925円に対して資本的支出額は688,638,396円であり、資本的収入額が資本的支出額に不足する額513,575,471円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額44,876,911円、減債積立金150,000,000円、建設改良積立金40,000,000円、過年度分損益勘定留保資金278,698,560円で補てんされている。

(表3) 資本的収入及び支出の決算状況

| 収 入          |             | (単位:円・%)    |              |       |    |
|--------------|-------------|-------------|--------------|-------|----|
| 区 分          | 予算額         | 決算額         | 比 較          | 収入率   | 備考 |
| 第1款 資本的収入    | 216,261,000 | 175,062,925 | △ 41,198,075 | 80.9  |    |
| 第1項 企業債      | 127,000,000 | 127,000,000 | 0            | 100.0 |    |
| 第2項 工事負担金    | 89,260,000  | 48,062,925  | △ 41,197,075 | 53.8  |    |
| 第3項 固定資産売却代金 | 1,000       | 0           | △1,000       | 0.0   |    |

## 支 出

(単位：円・%)

| 区 分        | 予 算 額       | 決 算 額       | 繰越額         | 不 用 額      | 執行率   | 備 考                                |
|------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------|------------------------------------|
| 第1款 資本的支出  | 900,777,000 | 688,638,396 | 112,992,000 | 99,146,604 | 76.4  | うち仮払消費税<br>及び地方消費税<br>44,969,005 円 |
| 第1項 建設改良費  | 724,925,000 | 512,786,944 | 112,992,000 | 99,146,056 | 70.7  | うち仮払消費税<br>及び地方消費税<br>44,969,005 円 |
| 第2項 企業債償還金 | 175,852,000 | 175,851,452 | 0           | 548        | 100.0 |                                    |

### 3 経営成績（税抜処理）

#### （1）損益

表4に見られるとおり、損益計算書に基づき当年度の経営成績を見ると、総収益2,211,189,758円に対し総費用は2,088,623,884円で、差引き122,565,874円の純利益となった。

これを前年度と比較すると総収益対総費用比率は0.7ポイントの減少、純利益は15,602,173円の減少となった。

なお、営業利益、経常利益及び純利益の推移は、表5のとおりである。

（表4） 事業経営収支の推移

（単位：円・％）

| 区 分        | 令和4年度         | 令和3年度         | 令和2年度         |
|------------|---------------|---------------|---------------|
| 総 収 益      | 2,211,189,758 | 2,229,772,701 | 2,143,716,828 |
| 総 費 用      | 2,088,623,884 | 2,091,604,654 | 2,077,589,745 |
| 差 引        | 122,565,874   | 138,168,047   | 66,127,083    |
| 総収益と総費用の比率 | 105.9         | 106.6         | 103.2         |

（表5） 損益の推移

（単位：円）

| 区 分     | 令和4年度        | 令和3年度        | 令和2年度        |
|---------|--------------|--------------|--------------|
| 営 業 利 益 | △215,844,731 | △198,660,880 | △245,941,449 |
| 経 常 利 益 | 122,565,874  | 138,168,047  | 66,127,083   |
| 純 利 益   | 122,565,874  | 138,168,047  | 66,127,083   |

表6に見られるとおり、水道事業収益は、営業収益1,849,528,877円、営業外収益361,660,881円の合計2,211,189,758円で、前年度と比較すると18,582,943円（0.8％）の減少となっている。

水道事業収益の83.6％を占める営業収益の内訳は、給水収益1,776,708,840円、受託工事収益7,641,992円及びその他営業収益65,178,045円である。

営業外収益の主なものは、長期前受金戻入142,841,028円、他会計補助金113,430,700円となっており、他会計補助金は、基本料金免除相当額及び東日本大震災避難者に対する水道料金減免相当額についての一般会計からの補助金である。

(表6) 水道事業収益の状況

(単位：円・%)

| 区 分        | 令和4年度         | 構 成<br>比 率 | 令和3年度         | 構 成<br>比 率 | 比較増減        | 増減率  |
|------------|---------------|------------|---------------|------------|-------------|------|
| 営業収益       |               |            |               |            |             |      |
| ・給水収益      | 1,776,708,840 | 80.4       | 1,801,272,890 | 80.8       | △24,564,050 | △1.4 |
| ・受託工事収益    | 7,641,992     | 0.3        | 3,894,152     | 0.2        | 3,747,840   | 96.2 |
| ・その他営業収益   | 65,178,045    | 2.9        | 58,098,985    | 2.6        | 7,079,060   | 12.2 |
| 計          | 1,849,528,877 | 83.6       | 1,863,266,027 | 83.6       | △13,737,150 | △0.7 |
| 営業外収益      |               |            |               |            |             |      |
| ・加入金       | 96,320,000    | 4.4        | 105,270,000   | 4.7        | △8,950,000  | △8.5 |
| ・受取利息及び配当金 | 282,315       | 0.0        | 303,951       | 0.0        | △21,636     | △7.1 |
| ・他会計補助金    | 113,430,700   | 5.1        | 112,860,260   | 5.1        | 570,440     | 0.5  |
| ・長期前受金戻入   | 142,841,028   | 6.5        | 140,165,850   | 6.3        | 2,675,178   | 1.9  |
| ・雑収益       | 8,786,838     | 0.4        | 7,906,613     | 0.3        | 880,225     | 11.1 |
| 計          | 361,660,881   | 16.4       | 366,506,674   | 16.4       | △4,845,793  | △1.3 |
| 特別利益       |               |            |               |            |             |      |
| ・固定資産売却益   | 0             | 0.0        | 0             | 0.0        | 0           | —    |
| 計          | 0             | 0.0        | 0             | 0.0        | 0           | —    |
| 合 計        | 2,211,189,758 | 100.0      | 2,229,772,701 | 100.0      | △18,582,943 | △0.8 |

表7に見られるとおり、水道事業費用は、営業費用2,065,373,608円、営業外費用23,250,276円の合計2,088,623,884円で、前年度と比較すると2,980,770円(0.1%)の減少となっている。

水道事業費用の98.9%を占める営業費用の主なものは、原水及び浄水費960,051,153円、減価償却費611,489,372円及び総係費175,264,143円である。

営業外費用の主なものは、支払利息及び企業債取扱諸費の企業債利息21,327,643円である。

この結果、水道事業収益と水道事業費用の差額として122,565,874円の純利益が生じている。

この純利益122,565,874円にその他未処分利益剰余金変動額190,000,000円を加えた当年度未処分利益剰余金は312,565,874円となり、地方公営企業法第32条第2項及び同法施行令第24条第1項の規定に基づき、議会の議決を経て、減債積立金に102,565,874円積み立て、利益積立金に20,000,000円積み立て、資本金に190,000,000円を組入れることとしている。

(表7) 水道事業費用の状況

(単位：円・%)

| 区 分            | 令和4年度         | 構 成<br>比 率 | 令和3年度         | 構 成<br>比 率 | 比較増減        | 増減率   |
|----------------|---------------|------------|---------------|------------|-------------|-------|
| 営業費用           |               |            |               |            |             |       |
| ・原水及び浄水費       | 960,051,153   | 46.0       | 933,995,642   | 44.6       | 26,055,511  | 2.8   |
| ・配水及び給水費       | 129,573,671   | 6.2        | 150,377,322   | 7.2        | △20,803,651 | △13.8 |
| ・受託工事費         | 6,873,687     | 0.3        | 3,406,554     | 0.2        | 3,467,133   | 101.8 |
| ・業務費           | 154,734,524   | 7.4        | 156,438,365   | 7.5        | △1,703,841  | △1.1  |
| ・総係費           | 175,264,143   | 8.4        | 163,889,177   | 7.8        | 11,374,966  | 6.9   |
| ・減価償却費         | 611,489,372   | 29.3       | 603,997,084   | 28.9       | 7,492,288   | 1.2   |
| ・資産減耗費         | 27,387,058    | 1.3        | 49,822,763    | 2.4        | △22,435,705 | △45.0 |
| ・その他営業費用       | 0             | 0.0        | 0             | 0.0        | 0           | —     |
| 計              | 2,065,373,608 | 98.9       | 2,061,926,907 | 98.6       | 3,446,701   | 0.2   |
| 営業外費用          |               |            |               |            |             |       |
| ・支払利息及び企業債取扱諸費 | 21,327,643    | 1.0        | 25,962,080    | 1.2        | △4,634,437  | △17.9 |
| ・雑支出           | 1,922,633     | 0.1        | 3,715,667     | 0.2        | △1,793,034  | △48.3 |
| 計              | 23,250,276    | 1.1        | 29,677,747    | 1.4        | △6,427,471  | △21.7 |
| 特別損失           |               |            |               |            |             |       |
| ・固定資産売却損       | 0             | 0.0        | 0             | 0.0        |             | —     |
| 計              | 0             | 0.0        | 0             | 0.0        |             | —     |
| 合 計            | 2,088,623,884 | 100.0      | 2,091,604,654 | 100.0      | △2,980,770  | △0.1  |

## (2) 収益性

表8に見られるように、有収水量1m<sup>3</sup>当たりの販売価格である供給単価と製造価格である給水原価を見ると、供給単価148円93銭に対し給水原価は162円35銭となり、給水原価が供給単価を上回っている。

(表8) 1m<sup>3</sup>当たりの供給単価・給水原価の状況

(単位：円)

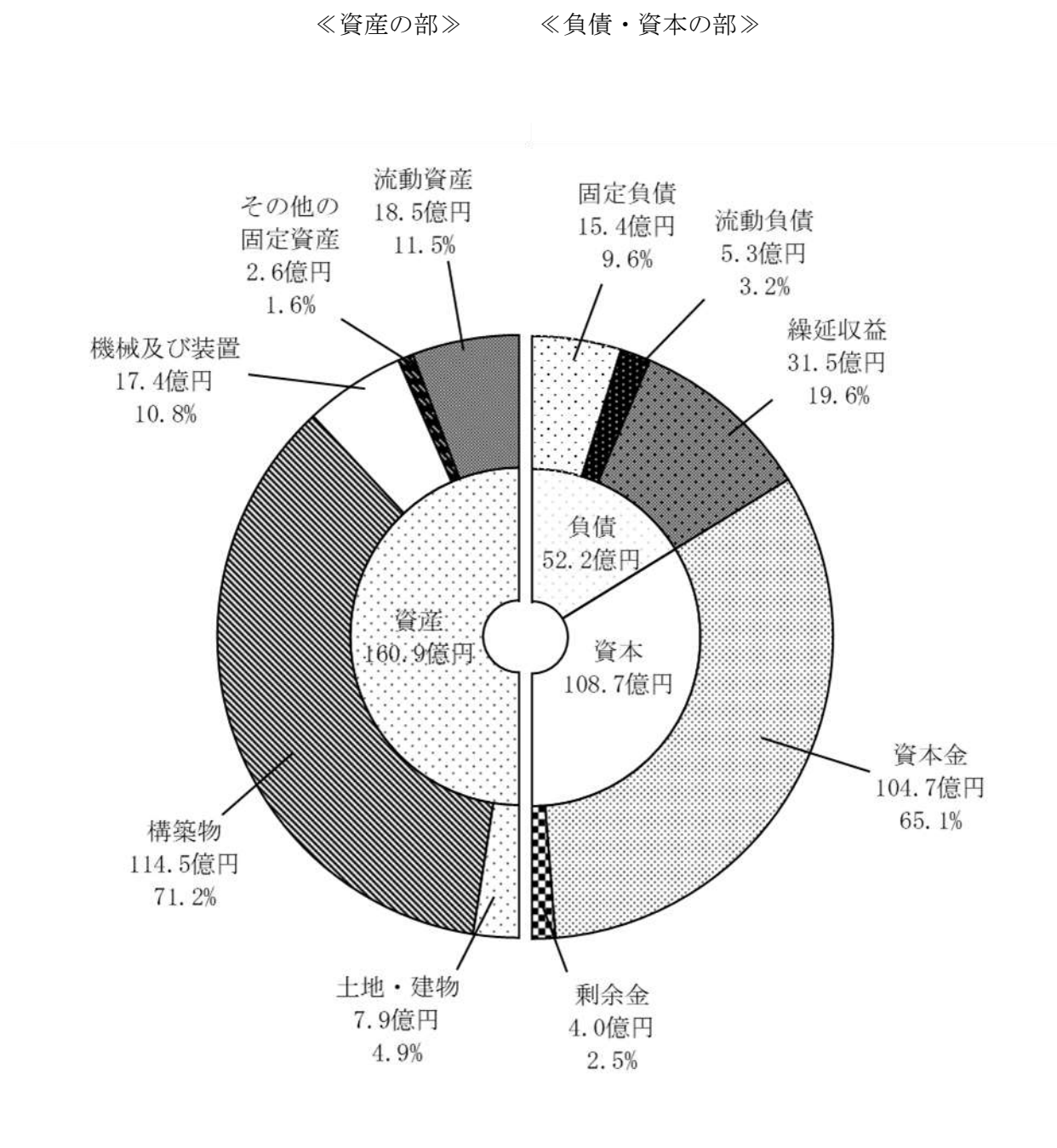
| 区 分    | 令和4年度  | 令和3年度  | 比較増減  |
|--------|--------|--------|-------|
| 供給単価   | 148.93 | 148.95 | △0.02 |
| 給水原価   | 162.35 | 160.93 | 1.42  |
| 差 額    | △13.42 | △11.98 | △1.44 |
| 県水購入単価 | 61.78  | 61.78  | —     |

#### 4 財政状態（税抜処理）

##### （1）資産、負債及び資本の状況

当年度末における資産は 16,093,716,789 円であり、負債は 5,220,085,934 円、資本は 10,873,630,855 円となっている。

財政状態



## (2) 資産

表9に見られるとおり、令和4年度末における資産は、固定資産14,248,112,783円、流動資産1,845,604,006円の合計16,093,716,789円で、前年度と比較すると31,329,515円(0.2%)の減少となっている。

固定資産の主なものは、有形固定資産の構築物11,453,609,769円並びに機械及び装置1,741,368,773円である。

流動資産の主なものは、預金1,587,007,554円である。また、未収金貸倒引当金から平成28年度及び平成29年度分水道料金の徴収停止額893,530円(税抜)を取り崩している。

(表9) 資産の状況

(単位：円・%)

| 区 分       | 令和4年度          | 構成<br>比率 | 令和3年度          | 構成<br>比率 | 比較増減         | 増減率  |
|-----------|----------------|----------|----------------|----------|--------------|------|
| 固定資産      |                |          |                |          |              |      |
| ・有形固定資産   | 14,047,885,648 | 87.3     | 14,166,354,589 | 87.9     | △118,468,941 | △0.8 |
| ・無形固定資産   | 227,135        | 0.0      | 227,135        | 0.0      | 0            | —    |
| ・投資その他の資産 | 200,000,000    | 1.2      | 200,000,000    | 1.2      | 0            | —    |
| 計         | 14,248,112,783 | 88.5     | 14,366,581,724 | 89.1     | △118,468,941 | △0.8 |
| 流動資産      |                |          |                |          |              |      |
| ・現金       | 50,000         | 0.0      | 50,000         | 0.0      | 0            | —    |
| ・預金       | 1,587,007,554  | 9.9      | 1,538,962,840  | 9.5      | 48,044,714   | 3.1  |
| ・未収金      | 212,613,449    | 1.3      | 205,147,392    | 1.3      | 7,466,057    | 3.6  |
| ・貯蔵品      | 13,980,103     | 0.1      | 14,304,348     | 0.1      | △324,245     | △2.3 |
| ・前払費用     | 0              | 0.0      | 0              | 0.0      | 0            | —    |
| ・前払金      | 31,952,900     | 0.2      | 0              | 0.0      | 31,952,900   | 皆増   |
| ・有価証券     | 0              | 0.0      | 0              | 0.0      | 0            | —    |
| ・その他流動資産  | 0              | 0.0      | 0              | 0.0      | 0            | —    |
| 計         | 1,845,604,006  | 11.5     | 1,758,464,580  | 10.9     | 87,139,426   | 5.0  |
| 合 計       | 16,093,716,789 | 100.0    | 16,125,046,304 | 100.0    | △31,329,515  | △0.2 |

## (3) 負債及び資本

表10に見られるとおり、令和4年度末における負債は、固定負債1,542,566,835円、流動負債523,925,029円、繰延収益3,153,594,070円の合計5,220,085,934円で、前年度と比較すると153,895,389円(2.9%)の減少となっている。

負債の主なものは、固定負債の企業債1,311,453,835円、流動負債の翌年度に支払う工事請負

費等の未払金 253,352,891 円、繰延収益 3,153,594,070 円である。

また、令和4年度末における資本は、資本金 10,467,096,213 円、剰余金 406,534,642 円の合計 10,873,630,855 円で、前年度と比較すると 122,565,874 円(1.1%)の増加となっている。

(表 10) 負債及び資本の状況

(単位：円・%)

| 区 分      | 令和4年度          | 構成<br>比率 | 令和3年度          | 構成<br>比率 | 比較増減         | 増減率   |
|----------|----------------|----------|----------------|----------|--------------|-------|
| 固定負債     |                |          |                |          |              |       |
| ・企業債     | 1,311,453,835  | 8.2      | 1,330,271,105  | 8.3      | △ 18,817,270 | △1.4  |
| ・引当金     | 231,113,000    | 1.4      | 231,113,000    | 1.4      | 0            | 0.0   |
| 計        | 1,542,566,835  | 9.6      | 1,561,384,105  | 9.7      | △ 18,817,270 | △1.2  |
| 流動負債     |                |          |                |          |              |       |
| ・一時借入金   | 0              | 0.0      | 0              | 0.0      | 0            | —     |
| ・企業債     | 145,817,270    | 0.9      | 175,851,452    | 1.1      | △ 30,034,182 | △17.1 |
| ・未払金     | 253,352,891    | 1.5      | 318,321,681    | 2.0      | △ 64,968,790 | △20.4 |
| ・未払費用    | 0              | 0.0      | 0              | 0.0      | 0            | —     |
| ・前受金     | 0              | 0.0      | 0              | 0.0      | 0            | —     |
| ・引当金     | 11,924,000     | 0.1      | 13,267,000     | 0.1      | △ 1,343,000  | △10.1 |
| ・その他流動負債 | 112,830,868    | 0.7      | 103,916,682    | 0.6      | 8,914,186    | 8.6   |
| 計        | 523,925,029    | 3.2      | 611,356,815    | 3.8      | △ 87,431,786 | △14.3 |
| 繰延収益     | 3,153,594,070  | 19.6     | 3,201,240,403  | 19.9     | △47,646,333  | △1.5  |
| 計        | 3,153,594,070  | 19.6     | 3,201,240,403  | 19.9     | △47,646,333  | △1.5  |
| 負債合計     | 5,220,085,934  | 32.4     | 5,373,981,323  | 33.4     | △153,895,389 | △2.9  |
| 資本金      | 10,467,096,213 | 65.1     | 10,277,096,213 | 63.7     | 190,000,000  | 1.8   |
| 計        | 10,467,096,213 | 65.1     | 10,277,096,213 | 63.7     | 190,000,000  | 1.8   |
| 剰余金      |                |          |                |          |              |       |
| ・利益剰余金   | 406,534,642    | 2.5      | 473,968,768    | 2.9      | △ 67,434,126 | △14.2 |
| 計        | 406,534,642    | 2.5      | 473,968,768    | 2.9      | △ 67,434,126 | △14.2 |
| 資本合計     | 10,873,630,855 | 67.6     | 10,751,064,981 | 66.6     | 122,565,874  | 1.1   |
| 負債・資本合計  | 16,093,716,789 | 100.0    | 16,125,046,304 | 100.0    | △31,329,515  | △0.2  |



企業債の状況は、表 11 に見られるとおりであるが、今年度は借入が 127,000,000 円、償還が 175,851,452 円で、年度末未償還残高は前年度比 48,851,452 円の減少となっている。

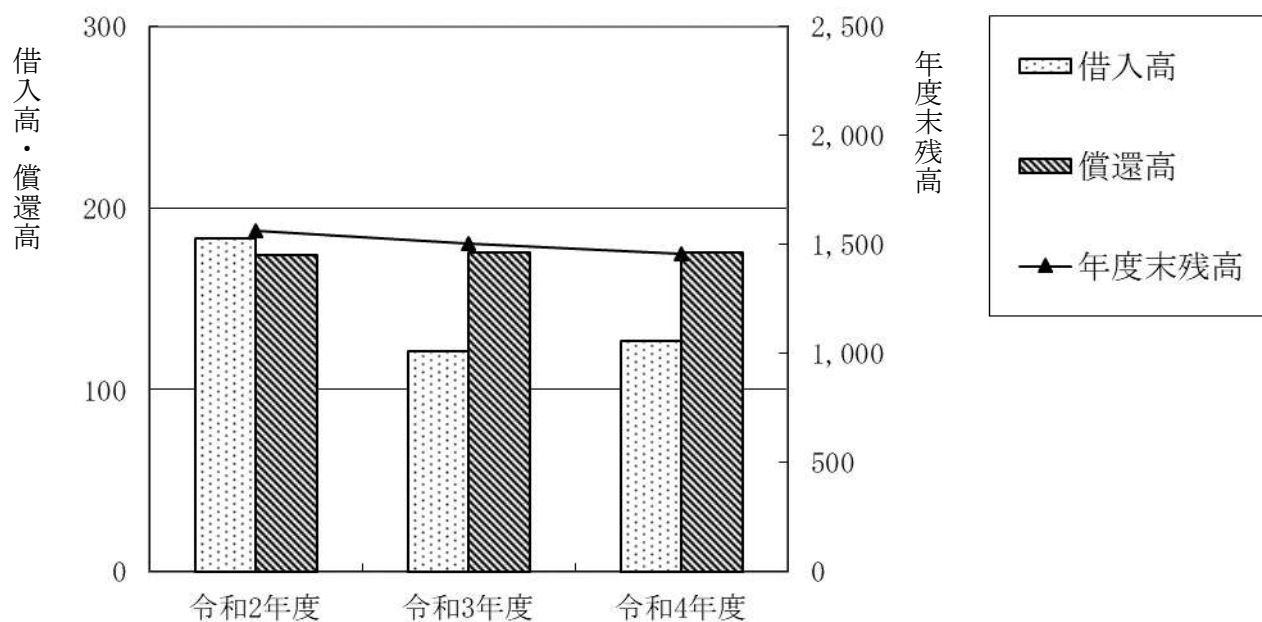
(表 11) 企業債の状況

(単位：円)

| 前年度末残高        | 本年度借入高      | 本年度償還高      | 本年度末残高        |
|---------------|-------------|-------------|---------------|
| 1,506,122,557 | 127,000,000 | 175,851,452 | 1,457,271,105 |

企業債残高の推移

(単位：百万円)



## む す び

以上、令和4年度水道事業会計決算の審査結果について、概要を述べたところである。

まず、本年度の特記すべき事項として、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている生活者や事業者に対する支援として、公共施設を除く全ての水道利用者に対して、基本料金2か月分の免除を行った。

経営状況は、総収益2,211,189,758円に対し、総費用は2,088,623,884円となっており、純利益は前年度と比較すると15,602,173円減少し、122,565,874円を計上した。

なお、総収益の内訳を見ると、受託工事収益やその他営業収益等が増加したが、給水収益、加入金等が減少し、18,582,943円減少している。

一方、総費用は、原水及び浄水費や受託工事費、減価償却費等は増加したが、配水及び給水費、資産減耗費等の減少により、2,980,770円減少している。

建設改良事業の状況は、配水管新設及び布設替工事381,175,300円を施工、受贈管も含め工事延長4,770mの配水管新設及び布設替えを行った。

また、浄水場部門では水質監視装置更新工事等111,650,000円を施工した。

次に水道事業を取り巻く現状についてみると、令和4年度は、前年度と比べ給水人口は0.1%の増加、給水戸数は1.4%増加したにもかかわらず、年間有収水量は1.3%減少した。

水道事業は、安全な水道水を持続的かつ安定的に供給するだけでなく、管路・施設の更新、耐震化、水質のさらなる安全性が求められているが、本市は、昭和35年（1960年）に事業を開始したことから、老朽化施設の更新など基盤強化に重点をおく維持管理の時代に突入している。

これらを踏まえ、今後とも安全で良質な水の安定供給に努め、渇水や地震等の災害に強く、信頼性の高い水道の構築に努めるとともに、本年度に改訂を行った「鴻巣市水道事業ビジョン」を踏まえて、効率的な経営を推進し、質の高いサービスを利用者に提供していくことを望むものである。



# 鴻巣市下水道事業会計

## 鴻巣市下水道事業会計

### 1 業務概況

令和4年度の業務概況は、表1のとおりである。

当年度末処理区域内人口は、92,147人で普及率は78.3%、水洗化人口は87,445人で水洗化率は94.9%となっている。年度中の汚水処理水量は11,407,693<sup>m</sup>、有収水量は9,190,839<sup>m</sup>で、有収率は80.6%となっており、前年度と比べ0.7ポイント減少している。効率的な事業運営に努め、有収率の向上のための更なる努力を期待する。

(表1) 下水道事業の業務概況

| 区 分              |      | 単位           | 令和4年度      | 令和3年度      |
|------------------|------|--------------|------------|------------|
| 行政区域内人口          |      | 人            | 117,661    | 117,578    |
| 処理区域内人口          |      | 人            | 92,147     | 91,957     |
| 人口普及率            |      | %            | 78.3       | 78.2       |
| 水洗化人口            |      | 人            | 87,445     | 87,249     |
| 水洗化率             |      | %            | 94.9       | 94.9       |
| 汚水<br>処理<br>量    | 年間   | <sup>m</sup> | 11,407,693 | 11,406,592 |
|                  | 1日平均 | <sup>m</sup> | 31,254     | 31,251     |
| 有<br>収<br>水<br>量 | 年間   | <sup>m</sup> | 9,190,839  | 9,274,011  |
|                  | 1日平均 | <sup>m</sup> | 25,180     | 25,408     |
| 年間有収率            |      | %            | 80.6       | 81.3       |

## 2 予算の執行状況（税込処理）

### （1）収益的収入及び支出

表2に見られるとおり、令和4年度における収益的収入は、予算額2,515,764,000円に対し決算額は2,523,468,152円であり、収入率は100.3%となっている。

収益的支出は、予算額2,453,303,000円に対し決算額が2,399,156,453円で、執行率は97.8%であった。

（表2） 収益的収入及び支出の決算状況

収 入

（単位：円・％）

| 区 分         | 予 算 額         | 決 算 額         | 比 較       | 収入率   | 備 考   |
|-------------|---------------|---------------|-----------|-------|---|
| 第1款 下水道事業収益 | 2,515,764,000 | 2,523,468,152 | 7,704,152 | 100.3 | うち仮受消費税及び地方消費税<br>104,532,236円                          |
| 第1項 営業収益    | 1,405,200,000 | 1,405,466,977 | 266,977   | 100.0 | うち仮受消費税及び地方消費税<br>104,527,927円                          |
| 第2項 営業外収益   | 1,110,563,000 | 1,118,001,175 | 7,438,175 | 100.7 | うち仮受消費税及び地方消費税<br>4,309円<br>消費税及び地方消費税還付額<br>6,250,152円 |
| 第3項 特別利益    | 1,000         | 0             | △ 1,000   | 0.0   |   |

支 出

（単位：円・％）

| 区 分         | 予 算 額         | 決 算 額         | 不用額        | 執行率  | 備 考                           |
|-------------|---------------|---------------|------------|------|-------------------------------|
| 第1款 下水道事業費用 | 2,453,303,000 | 2,399,156,453 | 54,146,547 | 97.8 | うち仮払消費税及び地方消費税<br>64,116,355円 |
| 第1項 営業費用    | 2,262,352,000 | 2,239,151,717 | 23,200,283 | 99.0 | うち仮払消費税及び地方消費税<br>64,116,355円 |
| 第2項 営業外費用   | 186,950,000   | 160,004,736   | 26,945,264 | 85.6 |                               |
| 第3項 特別損失    | 1,000         | 0             | 1,000      | 0.0  |                               |
| 第4項 予備費     | 4,000,000     | 0             | 4,000,000  | 0.0  |                               |

## (2) 資本的収入及び支出

表3に見られるとおり、令和4年度における資本的収入は、予算額1,512,625,000円に対し決算額は1,229,876,890円であり、収入率は81.3%となっている。決算額を前年度と比較すると626,582,240円(33.8%)の減少となっている。

収入の主なものは、企業債630,700,000円、他会計補助金286,266,000円、国庫補助金228,950,000円、他会計負担金50,988,000円である。

資本的支出は、予算額2,640,747,000円に対し決算額は2,096,685,927円であり、執行率は79.4%となっている。決算額を前年度と比較すると447,576,120円(17.6%)の減少となっている。

支出の主なものは、企業債償還金1,040,974,115円、管渠建設費886,004,011円、流域下水道建設負担金130,593,726円である。

翌年度に繰り越された建設改良費272,976,000円は、吹上第3処理分区面整備工事(R4-1)43,229,000円と元荒川第13処理分区污水管渠及び元荒川上流第1排水区雨水管渠築造工事(R4-4)104,215,000円、元荒川第13処理分区污水管渠及び元荒川上流第1排水区雨水管渠築造工事(R4-5)106,426,000円、污水管渠整備工事(R4-2)3,476,000円及び元荒川第15処理分区面整備工事実施設計業務委託15,630,000円である。

翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額96,780,000円を除いた資本的収入額1,133,096,890円に対して、資本的支出額は2,096,685,927円であり、資本的収入額が資本的支出額に不足する額963,589,037円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額35,696,169円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額47,535,908円、減債積立金100,000,000円、繰越工事資金62,000,000円、過年度分損益勘定留保資金701,777,452円、当年度分損益勘定留保資金16,579,508円で補てんされている。

(表3) 資本的収入及び支出の決算状況

## 収 入

(単位：円・%)

| 区 分          | 予 算 額         | 決 算 額         | 比 較           | 収入率  | 備 考                            |
|--------------|---------------|---------------|---------------|------|--------------------------------|
| 第1款 資本的収入    | 1,512,625,000 | 1,229,876,890 | △ 282,748,110 | 81.3 | うち仮受消費税<br>及び地方消費税<br>191,500円 |
| 第1項 企業債      | 845,000,000   | 630,700,000   | △ 214,300,000 | 74.6 |                                |
| 第2項 固定資産売却代金 | 1,000         | 0             | △ 1,000       | 0.0  |                                |
| 第3項 負担金      | 86,258,000    | 83,960,890    | △ 2,297,110   | 97.3 | うち仮受消費税<br>及び地方消費税<br>191,500円 |
| 第4項 補助金      | 580,366,000   | 515,216,000   | △ 65,150,000  | 88.8 |                                |
| 第5項 貸付金返還金   | 1,000,000     | 0             | △ 1,000,000   | 0.0  |                                |

## 支 出

(単位：円・%)

| 区 分        | 予 算 額         | 決 算 額         | 翌年度<br>繰越額  | 不 用 額       | 執行率   | 備 考                               |
|------------|---------------|---------------|-------------|-------------|-------|-----------------------------------|
| 第1款 資本的支出  | 2,640,747,000 | 2,096,685,927 | 272,976,000 | 271,085,073 | 79.4  | うち仮払消費税及<br>び地方消費税<br>92,417,961円 |
| 第1項 建設改良費  | 1,596,772,000 | 1,055,711,812 | 272,976,000 | 268,084,188 | 66.1  | うち仮払消費税及<br>び地方消費税<br>92,417,961円 |
| 第2項 企業債償還金 | 1,040,975,000 | 1,040,974,115 | 0           | 885         | 100.0 |                                   |
| 第3項 貸付金    | 1,000,000     | 0             | 0           | 1,000,000   | 0.0   |                                   |
| 第4項 予備費    | 2,000,000     | 0             | 0           | 2,000,000   | 0.0   |                                   |



### 3 経営成績（税抜処理）

#### （1）損益

表4に見られるとおり、損益計算書に基づき当年度の経営成績を見ると、総収益2,412,685,764円に対し総費用は2,342,160,125円で、差引き70,525,639円の純利益となった。

これを前年度と比較すると総収益対総費用比率は0.6ポイントの増加、純利益は14,836,102円の増加となった。

なお、営業利益、経常利益及び純利益の推移は、表5のとおりである。

（表4） 事業経営収支の推移

（単位：円・％）

| 区 分        | 令和4年度         | 令和3年度         | 令和2年度         |
|------------|---------------|---------------|---------------|
| 総 収 益      | 2,412,685,764 | 2,382,437,717 | 2,232,932,585 |
| 総 費 用      | 2,342,160,125 | 2,326,748,180 | 2,129,410,680 |
| 差 引        | 70,525,639    | 55,689,537    | 103,521,905   |
| 総収益と総費用の比率 | 103.0         | 102.4         | 104.9         |

（表5） 損益の推移

（単位：円）

| 区 分     | 令和4年度         | 令和3年度         | 令和2年度         |
|---------|---------------|---------------|---------------|
| 営 業 利 益 | △ 874,096,312 | △ 845,208,569 | △ 680,616,479 |
| 経 常 利 益 | 70,525,639    | 55,689,537    | 103,521,905   |
| 純 利 益   | 70,525,639    | 55,689,537    | 103,521,905   |

表6に見られるとおり、下水道事業収益は、営業収益1,300,939,050円、営業外収益1,111,746,714円の合計2,412,685,764円で、前年度と比較すると30,248,047円（1.3％）の増加となっている。

下水道事業収益の53.9%を占める営業収益の内訳は、下水道使用料1,045,334,050円、他会計負担金254,921,000円及びその他営業収益684,000円である。下水道事業収益の46.1%を占める営業外収益の内訳は、他会計負担金23,693,000円、他会計補助金379,217,536円、補助金13,970,000円、長期前受金戻入694,686,887円、雑収益179,291円である。

(表6) 下水道事業収益の状況

(単位：円・%)

| 区 分        | 令和4年度         | 構 成<br>比 率 | 令和3年度         | 構 成<br>比 率 | 比較増減        | 増減率    |
|------------|---------------|------------|---------------|------------|-------------|--------|
| 営業収益       |               |            |               |            |             |        |
| ・下水道使用料    | 1,045,334,050 | 43.3       | 1,051,489,175 | 44.1       | △ 6,155,125 | △ 0.6  |
| ・他会計負担金    | 254,921,000   | 10.6       | 245,779,000   | 10.4       | 9,142,000   | 3.7    |
| ・その他営業収益   | 684,000       | 0.0        | 360,682       | 0.0        | 323,318     | 89.6   |
| 計          | 1,300,939,050 | 53.9       | 1,297,628,857 | 54.5       | 3,310,193   | 0.3    |
| 営業外収益      |               |            |               |            |             |        |
| ・受取利息及び配当金 | 0             | 0.0        | 0             | 0.0        | 0           | —      |
| ・他会計負担金    | 23,693,000    | 1.0        | 29,132,000    | 1.2        | △ 5,439,000 | △ 18.7 |
| ・他会計補助金    | 379,217,536   | 15.7       | 347,939,544   | 14.6       | 31,277,992  | 9.0    |
| ・補助金       | 13,970,000    | 0.6        | 14,500,000    | 0.6        | △ 530,000   | △ 3.7  |
| ・長期前受金戻入   | 694,686,887   | 28.8       | 693,204,860   | 29.1       | 1,482,027   | 0.2    |
| ・雑収益       | 179,291       | 0.0        | 32,456        | 0.0        | 146,835     | 452.4  |
| 計          | 1,111,746,714 | 46.1       | 1,084,808,860 | 45.5       | 26,937,854  | 2.5    |
| 特別利益       |               |            |               |            |             |        |
| ・固定資産売却益   | 0             | 0.0        | 0             | 0.0        | 0           | —      |
| 計          | 0             | 0.0        | 0             | 0.0        | 0           | —      |
| 合 計        | 2,412,685,764 | 100.0      | 2,382,437,717 | 100.0      | 30,248,047  | 1.3    |

表7に見られるとおり、下水道事業費用は、営業費用2,175,035,362円、営業外費用167,124,763円の合計2,342,160,125円で、前年度と比較すると15,411,945円(0.7%)の増加となっている。

下水道事業費用の92.9%を占める営業費用の主なものは、減価償却費1,431,226,100円、流域下水道維持管理負担金409,746,644円及び管渠費119,101,061円である。下水道事業費用の7.1%を占める営業外費用は、企業債利息159,931,481円が大半を占めている。

これらの結果、下水道事業収益と下水道事業費用の差額として70,525,639円の純利益が生じている。

この純利益70,525,639円にその他未処分利益剰余金変動額100,000,000円を加えた当年度未処分利益剰余金は170,525,639円となり、地方公営企業法第32条第2項及び同法施行令第24条第1項の規定に基づき、未処分利益剰余金を議会の議決を経て、企業債償還金の財源とすることとして減債積立金に70,525,639円を積み立て、また、資本金に100,000,000円を組入れることとしている。

(表7) 下水道事業費用の状況

(単位：円・%)

| 区 分            | 令和4年度         | 構成<br>比率 | 令和3年度         | 構成<br>比率 | 比較増減         | 増減率    |
|----------------|---------------|----------|---------------|----------|--------------|--------|
| 営業費用           |               |          |               |          |              |        |
| ・管渠費           | 119,101,061   | 5.1      | 125,288,009   | 5.4      | △ 6,186,948  | △ 4.9  |
| ・ポンプ場費         | 62,970,897    | 2.7      | 73,139,469    | 3.1      | △ 10,168,572 | △ 13.9 |
| ・流域下水道維持管理負担金  | 409,746,644   | 17.5     | 409,650,814   | 17.6     | 95,830       | 0.0    |
| ・普及促進費         | 7,870,000     | 0.3      | 7,342,383     | 0.3      | 527,617      | 7.2    |
| ・総係費           | 103,949,629   | 4.5      | 106,036,404   | 4.6      | △ 2,086,775  | △ 2.0  |
| ・減価償却費         | 1,431,226,100 | 61.1     | 1,411,132,055 | 60.7     | 20,094,045   | 1.4    |
| ・資産減耗費         | 40,171,031    | 1.7      | 10,248,292    | 0.4      | 29,922,739   | 292.0  |
| 計              | 2,175,035,362 | 92.9     | 2,142,837,426 | 92.1     | 32,197,936   | 1.5    |
| 営業外費用          |               |          |               |          |              |        |
| ・支払利息及び企業債取扱諸費 | 159,931,481   | 6.8      | 175,723,615   | 7.6      | △ 15,792,134 | △ 9.0  |
| ・補助金           | 0             | 0        | 0             | 0.0      | 0            | —      |
| ・雑支出           | 7,193,282     | 0.3      | 8,187,139     | 0.3      | △ 993,857    | △ 12.1 |
| 計              | 167,124,763   | 7.1      | 183,910,754   | 7.9      | △ 16,785,991 | △ 9.1  |
| 特別損失           |               |          |               |          |              |        |
| ・固定資産売却損       | 0             | 0.0      | 0             | 0.0      | 0            | —      |
| 計              | 0             | 0.0      | 0             | 0.0      | 0            | —      |
| 合 計            | 2,342,160,125 | 100.0    | 2,326,748,180 | 100.0    | 15,411,945   | 0.7    |

**(2) 収益性**

表8に見られるように、有収水量1 m<sup>3</sup>当たりの使用料収入と汚水処理に要する費用である処理原価を比較すると、使用料単価113円74銭に対し処理原価は150円となり、処理原価が使用料単価を大きく上回っている。

(表8) 1 m<sup>3</sup>当たりの使用料単価・処理原価の状況

(単位：円・%)

| 区 分       | 令和4年度   | 令和3年度   | 比較増減   |
|-----------|---------|---------|--------|
| 使 用 料 単 価 | 113.74  | 113.38  | 0.36   |
| 処 理 原 価   | 150.00  | 148.97  | 1.03   |
| 差 額       | △ 36.26 | △ 35.59 | △ 0.67 |
| 経 費 回 収 率 | 75.82   | 76.11   | △ 0.29 |

#### 4 財政状態（税抜処理）

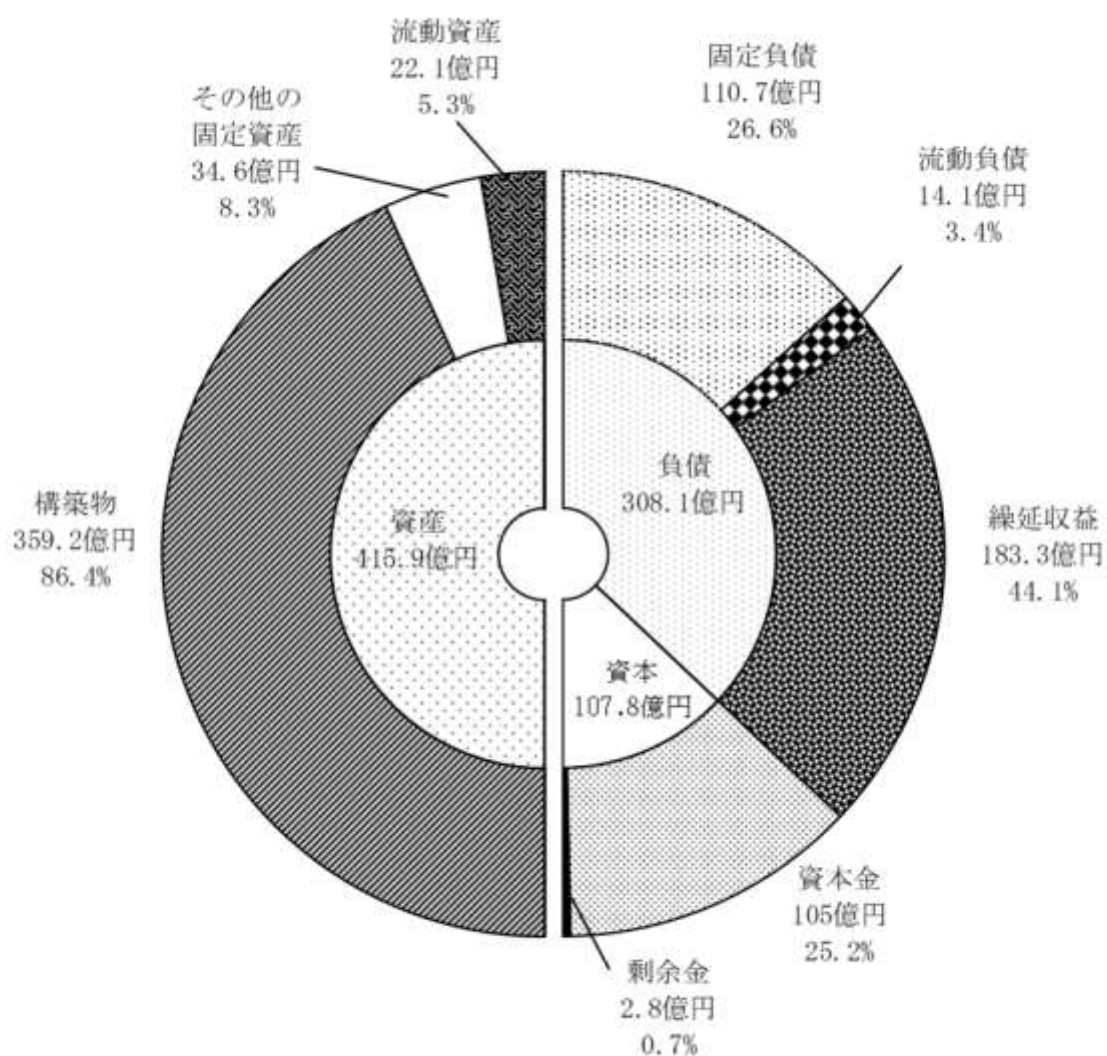
##### （1）資産、負債及び資本の状況

当年度末における資産は 41,593,944,463 円であり、負債は 30,810,725,034 円、資本は 10,783,219,429 円となっている。

財政状態

《資産の部》

《負債・資本の部》



## (2) 資産

表9に見られるとおり、令和4年度末における資産は、固定資産39,382,645,329円、流動資産2,211,299,134円の合計41,593,944,463円で、前年度と比較すると588,721,052円(1.4%)の減少となっている。

固定資産の主なものは、管渠施設等の構築物35,922,957,452円、無形固定資産1,846,097,414円、汚水中継ポンプ場設備等の機械及び装置632,021,951円、ポンプ場用地やその他用地等の土地559,704,250円である。

流動資産の内訳は、預金1,902,115,484円、未収金208,983,650円である。また、未収金貸倒引当金から下水道使用料の不納欠損額508,525円(税抜)を取り崩している。

(表9) 資産の状況

(単位：円・%)

| 区 分       | 令和4年度          | 構成<br>比率 | 令和3年度          | 構成<br>比率 | 比較増減          | 増減率    |
|-----------|----------------|----------|----------------|----------|---------------|--------|
| 固定資産      |                |          |                |          |               |        |
| ・有形固定資産   | 37,535,502,915 | 90.3     | 38,024,326,740 | 90.2     | △ 488,823,825 | △ 1.3  |
| ・土地       | 559,704,250    | 1.4      | 559,704,250    | 1.4      | 0             | 0.0    |
| ・建物       | 416,878,788    | 1.0      | 431,766,810    | 1.0      | △ 14,888,022  | △ 3.4  |
| ・構築物      | 35,922,957,452 | 86.4     | 35,981,935,646 | 85.3     | △ 58,978,194  | △ 0.2  |
| ・機械及び装置   | 632,021,951    | 1.5      | 636,671,995    | 1.5      | △ 4,650,044   | △ 0.7  |
| ・車両及び運搬具  | 187,423        | 0.0      | 187,423        | 0.0      | 0             | 0.0    |
| ・工具器具及び備品 | 927,051        | 0.0      | 232,251        | 0.0      | 694,800       | 299.2  |
| ・建設仮勘定    | 2,826,000      | 0.0      | 413,828,365    | 1.0      | △ 411,002,365 | △ 99.3 |
| ・無形固定資産   | 1,846,097,414  | 4.4      | 1,824,943,940  | 4.3      | 21,153,474    | 1.2    |
| ・投資その他の資産 | 1,045,000      | 0.0      | 1,045,000      | 0.0      | 0             | 0.0    |
| 計         | 39,382,645,329 | 94.7     | 39,850,315,680 | 94.5     | △ 467,670,351 | △ 1.2  |
| 流動資産      |                |          |                |          |               |        |
| ・現金       | 0              | 0.0      | 0              | 0.0      | 0             | —      |
| ・預金       | 1,902,115,484  | 4.6      | 2,018,185,766  | 4.8      | △ 116,070,282 | △ 5.8  |
| ・未収金      | 208,983,650    | 0.5      | 250,864,069    | 0.6      | △ 41,880,419  | △ 16.7 |
| ・前払費用     | 0              | 0.0      | 0              | 0.0      | 0             | —      |
| ・前払金      | 100,200,000    | 0.2      | 63,300,000     | 0.1      | 36,900,000    | 58.3   |
| 計         | 2,211,299,134  | 5.3      | 2,332,349,835  | 5.5      | △ 121,050,701 | △ 5.2  |
| 資産合計      | 41,593,944,463 | 100.0    | 42,182,665,515 | 100.0    | △ 588,721,052 | △ 1.4  |

### (3) 負債及び資本

表 10 に見られるとおり、令和 4 年度末における負債は、固定負債 11,069,200,282 円、流動負債 1,406,511,896 円、繰延収益 18,335,012,856 円の合計 30,810,725,034 円で、前年度と比較すると 659,246,691 円 (2.1%) の減少となっている。

負債の主なものは、繰延収益 18,335,012,856 円、固定負債の企業債 10,933,385,495 円、流動負債の企業債 971,488,948 円、流域下水道維持管理負担金、工事請負費等の未払金 423,888,948 円である。

また、令和 4 年度末における資本は、資本金 10,498,590,081 円、剰余金 284,629,348 円の合計 10,783,219,429 円で、前年度と比較すると 70,525,639 円 (0.7%) の増加となっている。

(表 10) 負債及び資本の状況

(単位：円・%)

| 区 分      | 令和 4 年度        | 構成<br>比率 | 令和 3 年度        | 構成<br>比率 | 比較増減          | 増減率    |
|----------|----------------|----------|----------------|----------|---------------|--------|
| 固定負債     |                |          |                |          |               |        |
| ・企業債     | 10,933,385,495 | 26.3     | 11,274,174,444 | 26.7     | △ 340,788,949 | △ 3.0  |
| ・引当金     | 135,814,787    | 0.3      | 135,814,787    | 0.3      | 0             | 0.0    |
| 計        | 11,069,200,282 | 26.6     | 11,409,989,231 | 27.0     | △ 340,788,949 | △ 3.0  |
| 流動負債     |                |          |                |          |               |        |
| ・企業債     | 971,488,948    | 2.4      | 1,040,974,114  | 2.5      | △ 69,485,166  | △ 6.7  |
| ・未払金     | 423,888,948    | 1.0      | 580,472,189    | 1.4      | △ 156,583,241 | △ 27.0 |
| ・預り金     | 2,200,000      | 0.0      | 913,000        | 0.0      | 1,287,000     | 141.0  |
| ・引当金     | 7,934,000      | 0.0      | 7,934,000      | 0.0      | 0             | 0.0    |
| ・その他流動負債 | 1,000,000      | 0.0      | 1,000,000      | 0.0      | 0             | 0.0    |
| 計        | 1,406,511,896  | 3.4      | 1,631,293,303  | 3.9      | △ 224,781,407 | △ 13.8 |
| 繰延収益     | 18,335,012,856 | 44.1     | 18,428,689,191 | 43.7     | △ 93,676,335  | △ 0.5  |
| 計        | 18,335,012,856 | 44.1     | 18,428,689,191 | 43.7     | △ 93,676,335  | △ 0.5  |
| 負債合計     | 30,810,725,034 | 74.1     | 31,469,971,725 | 74.6     | △ 659,246,691 | △ 2.1  |
| 資本金      | 10,498,590,081 | 25.2     | 10,408,590,081 | 24.7     | 90,000,000    | 0.9    |
| 計        | 10,498,590,081 | 25.2     | 10,408,590,081 | 24.7     | 90,000,000    | 0.9    |
| 剰余金      |                |          |                |          |               |        |
| ・利益剰余金   | 284,629,348    | 0.7      | 304,103,709    | 0.7      | △ 19,474,361  | △ 6.4  |
| 計        | 284,629,348    | 0.7      | 304,103,709    | 0.7      | △ 19,474,361  | △ 6.4  |
| 資本合計     | 10,783,219,429 | 25.9     | 10,712,693,790 | 25.4     | 70,525,639    | 0.7    |
| 負債・資本合計  | 41,593,944,463 | 100.0    | 42,182,665,515 | 100.0    | △ 588,721,052 | △ 1.4  |

企業債の状況は表 11 に見られるとおりであるが、今年度は借入が 630,700,000 円、償還が 1,040,974,115 円で、年度末未償還残高は前年度比 410,274,115 円の減少となっている。

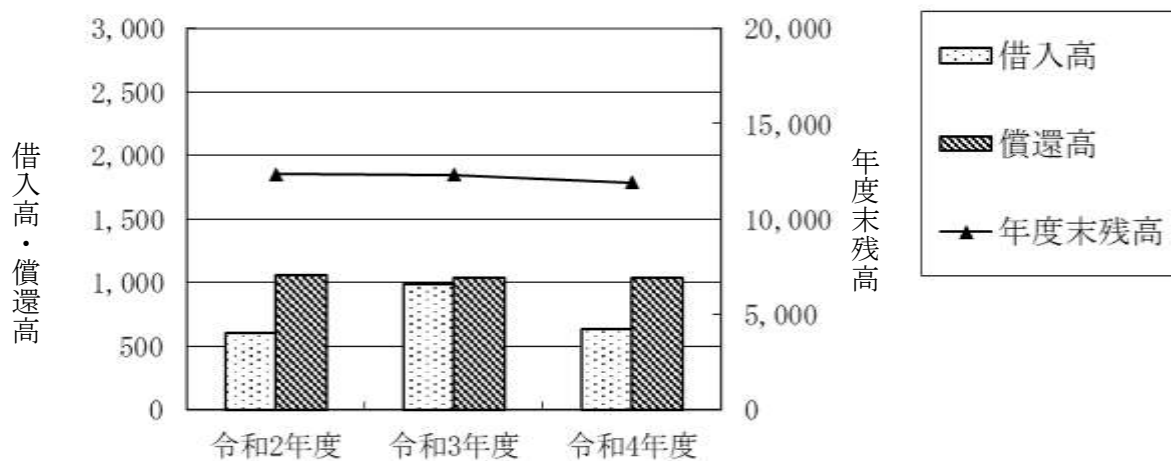
(表 11) 企業債の状況

(単位：円)

| 前年度末残高         | 本年度借入高      | 本年度償還高        | 本年度末残高         |
|----------------|-------------|---------------|----------------|
| 12,315,148,558 | 630,700,000 | 1,040,974,115 | 11,904,874,443 |

企業債残高の推移

(単位：百万円)



## む す び

以上、令和4年度下水道事業会計決算の審査結果について、概要を述べたところである。

本年度の経営状況についてみると、総収益2,412,685,764円に対し、総費用は2,342,160,125円となっており、純利益は前年度と比較すると14,836,102円増加し、70,525,639円を計上した。

なお、総収益の内訳を見ると、営業収益の他会計負担金や営業外収益の他会計補助金が増加したことにより、30,248,047円の増加となっている。一方で、総費用は、管渠費、ポンプ場費や支払利息及び企業債取扱諸費が減少したが、減価償却費や資産減耗費などの増加によって、15,411,945円の増加となっている。

建設改良事業についてみると、汚水整備事業として汚水管渠築造工事を2,466.48m施工し、新たに7.08haが供用開始となり、1,504.05haが整備済区域となった。また、雨水整備事業として雨水管渠築造工事を406.63m施工した。主な建設改良工事としては、元荒川上流第1排水区雨水整備事業調整池築造工事、元荒川上流第1排水区雨水管渠築造工事、元荒川第13処理分区汚水管渠及び元荒川上流第2排水区雨水管渠築造工事やマンホール蓋改築工事等が施工されている。

国土交通省のホームページには、「我が国の下水道事業は、当初、雨水及び汚水を排除することを目的とし事業を開始しました。その後、昭和45年の下水道法改正において、公共用水域の水質保全が目的に追加されました」とあり、このように、下水道事業は、「浸水防除」、「公衆衛生の向上」、「公共用水域の水質保全」を大きな目的として事業が実施されている。

本市の今後の下水道事業を展望すると、下水道施設の老朽化や耐震化に伴う改築・更新、浸水被害を軽減するための雨水対策が必要とされるため、厳しい経営環境が続くものと予想される。このような中でも生活環境の改善及び河川等の公共用水域の水質保全を図るための汚水整備事業の推進や市街地等の浸水被害の軽減に向けての雨水整備事業を進めていく必要がある。

このように、下水道事業は、都市における生活環境の改善や安全確保及び環境保全のために必要不可欠な施設であり、市民生活の基盤を支えるものである。

このため、持続可能な下水道事業の運営を図るため「鴻巣市下水道事業経営戦略」や「鴻巣市雨水管理総合計画」を踏まえ、引き続き効率的な事業運営に努めるとともに、今後も中長期的な視点に立った計画的な事業推進を望むものである。また、管路施設等の資産については、引き続きストックマネジメント計画に基づき、施設全体の管理の最適化に努めていただきたい。